2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　　アニコム ホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　8715　　URL　https://www.anicom.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役　　（氏名）　小森　伸昭
問合せ先責任者　（役職名）　経営企画部　部長　　（氏名）　櫻井　紀彦　　(TEL) 03(5348)3911
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト・機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	41,041	12.8	4,194	99.9	2,920	104.3
2026年３月期中間期	36,400	10.6	2,098	△33.0	1,429	△34.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,570百万円(△16.5%)　2026年３月期中間期　1,881百万円(△3.3%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	39.88	―
2026年３月期中間期	19.20	―

（参考）　のれん償却前経常利益(経常利益+のれん償却額)
2027年３月期中間期　4,323百万円　2026年３月期中間期　2,227百万円
のれん償却前中間純利益(親会社株主に帰属する中間純利益+のれん償却額)
2027年３月期中間期　3,049百万円　2026年３月期中間期　1,558百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	71,692	28,906	40.5
2026年３月期	76,693	28,942	37.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　29,055百万円　2026年３月期　29,091百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	9.00	9.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	13.50	13.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	9.7	5,000	41.1	3,250	47.4	44.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	74,939,160株	2026年３月期	74,939,160株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,070,735株	2026年３月期	1,300,732株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	73,225,163株	2026年３月期中間期	74,437,811株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の記述について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.５「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（会計方針の変更） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（重要な後発事象） …… 12
３．補足情報 …… 13
（１）2027年３月期　第２四半期（中間期）損益状況 …… 13
（２）種目別保険料・保険金 …… 14
（３）有価証券関係 …… 15

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、食料品等の物価上昇が続くなか、個人消費の回復には力強さを欠く状況となりました。また、中東情勢や米国の通商政策の動向、原油価格・為替相場の変動、金融・資本市場の変動等による影響も懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社の重点施策と位置付けている「ペット保険の更なる収益力向上」に向け、堅調なペット飼育需要の継続に加え、販売チャネルの営業活動強化の様々な取組みにより、保有契約数は1,433,091件（前期末から40,319件の増加・同2.9％増）と、順調に増加しております。また、E/I損害率[注1)]については、ペットの平均寿命の伸長やどうぶつ医療の高度化、インフレの影響による診療費の高止まりなどにより、65.1％と前年同期比で2.5pt上昇いたしました。既経過保険料ベース事業費率[注2)]は、主に他社契約移管コストが無くなったことにより、30.3％と前年同期比で4.3pt改善いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年同期比で1.8pt改善し、95.4％となりました。

また、当社グループでは、引き続き第二期創業期の歩みを加速させる取組みを推進しております。あらゆるデータから、病気・ケガを分析し、「入って健康になる」予防型保険会社グループへ成長するため、新規事業の重点施策に対する取組みを、どうぶつのライフステージの川上から川下まで幅広く展開しております。川上での科学・技術・データに医療のサポートを加えたブリーディングやマッチングサイト運営を通じたブリーダー支援に加え、川中では「どうぶつ健活」によるどうぶつの健康チェックの普及、各検査をキーにした口腔・腸内ケア商材の開発・販売等の健康イノベーション事業の拡大を進めております。更に川下においては、どうぶつ医療における高度先進医療（手術支援ロボット、細胞治療）を実用化し拡大を図るとともに、カルテ管理システム事業の拡大（AIの導入、予約システム等の機能の充実）等とあわせ、データのさらなる活用による予防法の開発、ペット関連事業の領域拡大を目指しております。

以上の結果、当社グループにおける当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

保険引受収益33,764百万円（前年同期比6.6％増）、資産運用収益2,571百万円（同287.7％増）、新規事業等を含むその他経常収益4,706百万円（同15.8％増）を合計した経常収益は41,041百万円（同12.8％増）となりました。一方、保険引受費用24,490百万円（同9.9％増）、営業費及び一般管理費10,333百万円（同1.1％減）などを合計した経常費用は36,847百万円（同7.4％増）となりました。この結果、経常利益は4,194百万円（同99.9％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,920百万円（同104.3％増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、“損害保険事業（ペット保険）”、“ペット向けインターネットサービス事業”、“動物病院運営事業”、“健康イノベーション事業”及び“その他の事業”です。

セグメントの名称	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	対前年同期 増減(△)率
	金額（百万円）	金額（百万円）	(%)
損害保険事業（ペット保険）	32,389	36,406	12.4
損害保険（アニコム損害保険㈱）	32,389	36,406	12.4
（うち正味収入保険料）	31,674	33,614	6.1
ペット向けインターネットサービス事業	1,158	1,130	△2.4
動物病院運営事業	1,221	1,554	27.3
健康イノベーション事業	260	374	43.5
その他の事業	1,369	1,576	15.1
動物病院支援	189	247	30.7
保険代理店	10	10	△3.4
遺伝子検査等	167	168	0.2
その他	1,002	1,150	14.8
合計	36,400	41,041	12.8

＜損害保険事業＞

損害保険事業の経常収益は、前年同期比4,016百万円増（同12.4%増）の36,406百万円となりました。

アニコム損害保険株式会社では、重点施策と位置付けている「ペット保険の更なる収益力向上」に向け、堅調なペット飼育需要の継続に加え、販売チャネルの営業活動強化に向けた様々な取組みを進めております。他社契約受管の完了により新規契約件数は121,342件（前年同期比12.4%減）となりましたが、保有契約件数は1,433,091件（前期末から40,319件の増加・同2.9%増）と順調に増加しています。E/I損害率[注1)]については、ペットの平均寿命の伸長やどうぶつ医療の高度化、インフレの影響による診療費の高止まりなどにより、65.1%と前年同期比で2.5pt上昇いたしました。既経過保険料ベース事業費率[注2)]は、主に他社契約移管コストが無くなったことにより、30.3%と前年同期比で4.3pt改善いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年同期比で1.8pt改善し、95.4%となりました。

注１）E/I損害率：発生ベースでの損害率。
（正味支払保険金＋支払備金増減額＋損害調査費）÷既経過保険料にて算出。

注２）既経過保険料ベース事業費率：発生ベースの保険料(既経過保険料)に対する発生ベースの事業費率。
損保事業費÷既経過保険料にて算出。

＜ペット向けインターネットサービス事業＞

ペット向けインターネットサービス事業の経常収益は、前年同期比27百万円減（同2.4%減）の1,130百万円となりました。

株式会社シムネットにおいては、犬や猫を販売するブリーダーと飼い主のマッチングサイトや保護された犬や猫の譲渡の機会を提供する里親マッチングサイトの運営等の「ペット向けインターネットサービス事業」を行っております。同社が運営する「みんなのブリーダー」は日本最大のブリーダーマッチングサイトであり、このプラットフォームを活用することで、当社グループの中核事業である損害保険事業のペット保険契約件数の増加に向けた効果的・効率的な施策につなげるとともに、ブリーダーサポートサービスの拡大につなげています。

＜動物病院運営事業＞

動物病院運営事業の経常収益は、前年同期比332百万円増（同27.3%増）の1,554百万円となりました。

アニコム先進医療研究所株式会社において、どうぶつ医療分野における基礎研究の推進、科学的根拠に基づく診療方法の確立及び、予防・先進医療の開発に向けた研究・臨床・開発等を行うとともに、地域獣医療のサポートとしての病院承継を行っております。同社では、自ら動物病院を運営し、予防から１次・２次診療を展開しております。

2025年10月に開院したJARVISどうぶつ医療センター Tokyoについては、２次診療・夜間救急を中心とした高度動物医療を提供し、症例蓄積やグループ連携を通じて、予防から高度医療までを支える成長拠点を目指しています。

＜健康イノベーション事業＞

健康イノベーション事業の経常収益は、前年同期比113百万円増（同43.5%増）の374百万円となりました。

主にアニコム パフェ株式会社において、各検査をキーにした口腔・腸内ケア商材の開発及び販売を行っております。同社では、歯周病予防のためにMA-T™を利用した歯みがきジェル「CRYSTAL JOY」や、腸内フローラの多様性を高める「7Days Food」、愛犬・愛猫の食事を美味しく健康にサポートする「CARE PUREE」の販売を開始するとともに販路の開拓を進め、日々の口腔・腸内ケアによって病気の予防を目指しています。

＜その他の事業＞

その他の事業の経常収益は、前年同期比206百万円増（同15.1%増）の1,576百万円となりました。

・動物病院支援事業

アニコム パフェ株式会社において、動物病院経営に必要となる顧客管理、レセプト精算、診療明細書の発行等の機能を有しているカルテ管理システム「アニコムレセプター」の開発、販売、保守等を行っており、当中間連結会計期間における経常収益は247百万円（同30.7%増）となりました。

・保険代理店事業

アニコム パフェ株式会社において、ペット関連の取引先企業等に対して損害保険及び生命保険の募集・販売を行っており、当中間連結会計期間における経常収益は10百万円（同3.4%減）となりました。

・遺伝子検査等事業

アニコム パフェ株式会社において、親と子の遺伝子検査を通じてペットが生まれてくる際の遺伝病を避けるべく、ペットショップ及びブリーダー向けに遺伝子検査の販売を行っております。加えて、どうぶつの健康チェックを目的とした腸内フローラ測定サービス（どうぶつ健活）の販売等を行っており、当中間連結会計期間における経常収益は168百万円（同0.2%増）となりました。

・その他事業

上記のほかに、アニコム パフェ株式会社において、ペットの健康に関する24時間365日の電話相談サービス「アニコム24」の提供、ペットを失った悲しみ(ペットロス)を支えるWEBサイト「アニコムメモリアル」の運営、動物関係者に特化した人材紹介サイト「アニジョブ」の運営等を行っており、株式会社フローエンスにおいて、ブリーディング事業を行っております。その結果、その他事業全体としての経常収益は1,150百万円（同14.8%増）となっています。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,000百万円減少して71,692百万円となりました。その主な要因は、現金及び預貯金が3,469百万円減少、有価証券が3,211百万円減少したことであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4,965百万円減少して42,786百万円となりました。その主な要因は、借入金が5,004百万円減少したことであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少して28,906百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が2,257百万円増加した一方で、自己株式が955百万円増加、その他有価証券評価差額金が1,349百万円減少したことであります。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,237百万円の収入となりました。主に税金等調整前中間純利益4,154百万円でありますが、前中間連結会計期間に比べると1,232百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,173百万円の収入となりました。主に有価証券の取得による支出25,372百万円、有価証券の売却・償還による収入27,210百万円でありますが、前中間連結会計期間に比べると7,234百万円の収入の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,680百万円の支出となりました。主に借入金の返済による支出5,004百万円でありますが、前中間連結会計期間に比べると5,018百万円の支出の増加となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より269百万円減少し、8,822百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想のうち、連結業績予想につきましては、2026年５月12日に公表致しました決算短信中の「2027年３月期の連結業績予想」をご参照ください。なお、今後の業績推移により修正の必要が生じた場合には速やかに公表致します。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	13,392	9,922
有価証券	42,631	39,420
有形固定資産	6,418	7,110
無形固定資産	3,659	3,667
その他資産	8,788	9,534
共同保険貸	2	4
再保険貸	16	33
未収金	4,058	4,345
未収保険料	733	753
仮払金	1,027	1,114
その他の資産	2,951	3,282
繰延税金資産	1,815	2,050
貸倒引当金	△12	△12
資産の部合計	76,693	71,692
負債の部		
保険契約準備金	29,080	29,257
支払備金	4,116	4,443
責任準備金	24,964	24,814
社債	5,000	5,000
その他負債	13,109	7,942
借入金	5,105	101
未払法人税等	571	1,101
未払金	4,318	3,406
その他の負債	3,114	3,332
賞与引当金	350	361
特別法上の準備金	210	224
価格変動準備金	210	224
負債の部合計	47,751	42,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,202	8,202
資本剰余金	7,272	7,284
利益剰余金	16,227	18,485
自己株式	△1,002	△1,957
株主資本合計	30,700	32,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,608	△2,958
その他の包括利益累計額合計	△1,608	△2,958
新株予約権	△149	△149
純資産の部合計	28,942	28,906
負債及び純資産の部合計	76,693	71,692

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
経常収益	36,400	41,041
保険引受収益	31,674	33,764
（うち正味収入保険料）	31,674	33,614
（うち責任準備金戻入額）	－	149
資産運用収益	663	2,571
（うち利息及び配当金収入）	436	489
（うち有価証券売却益）	226	2,081
その他経常収益	4,063	4,706
経常費用	34,301	36,847
保険引受費用	22,291	24,490
（うち正味支払保険金）	18,392	20,377
（うち損害調査費）	583	715
（うち諸手数料及び集金費）	2,845	3,071
（うち支払備金繰入額）	221	326
（うち責任準備金繰入額）	249	－
資産運用費用	0	382
（うち有価証券売却損）	－	368
（うち有価証券評価損）	－	13
営業費及び一般管理費	10,449	10,333
その他経常費用	1,560	1,640
（うち支払利息）	36	56
経常利益	2,098	4,194
特別利益	－	0
固定資産処分益	－	0
特別損失	17	40
固定資産処分損	4	27
特別法上の準備金繰入額	13	13
価格変動準備金繰入額	13	13
税金等調整前中間純利益	2,081	4,154
法人税及び住民税等	472	919
法人税等調整額	179	314
法人税等合計	651	1,234
中間純利益	1,429	2,920
親会社株主に帰属する中間純利益	1,429	2,920

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,429	2,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	451	△1,349
その他の包括利益合計	451	△1,349
中間包括利益	1,881	1,570
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,881	1,570

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,081	4,154
減価償却費	411	665
のれん償却額	129	129
支払備金の増減額（△は減少）	221	326
責任準備金の増減額（△は減少）	249	△149
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△45	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	50	10
価格変動準備金の増減額（△は減少）	13	13
利息及び配当金収入	△436	△489
有価証券関係損益（△は益）	△226	△1,699
持分法による投資損益（△は益）	47	－
支払利息	36	56
有形固定資産関係損益（△は益）	4	27
その他資産（除く投資活動関連、財務活動関連）の増減額（△は増加）	△243	△605
その他負債（除く投資活動関連、財務活動関連）の増減額（△は減少）	233	686
その他	27	39
小計	2,553	3,165
利息及び配当金の受取額	423	485
利息の支払額	△45	△44
法人税等の支払額	△925	△368
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,005	3,237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額（△は増加）	△1,350	3,200
有価証券の取得による支出	△3,663	△25,372
有価証券の売却・償還による収入	3,239	27,210
貸付金の回収による収入	44	－
資産運用活動計	△1,729	5,038
営業活動及び資産運用活動計	275	8,275
有形固定資産の取得による支出	△2,031	△1,446
有形固定資産の売却による収入	－	0
無形固定資産の取得による支出	△251	△312
関係会社株式の取得による支出	△47	－
その他	△1	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,061	3,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△5,000	－
借入れによる収入	5,000	－
借入金の返済による支出	△4	△5,004
リース債務の返済による支出	△5	△5
配当金の支払額	△635	△662
自己株式の取得による支出	△1,016	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,661	△6,680
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,717	△269
現金及び現金同等物の期首残高	22,610	9,092
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,892	8,822

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

期中財務諸表に関する会計基準等の適用

「期中財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第37号 2025年10月16日。以下「期中会計基準」という。）及び「期中財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第34号 2025年10月16日。以下「期中適用指針」という。）を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これに伴い、有価証券の減損処理及び棚卸資産の簿価切下げに係る方法を、従来の期中切放し法から期中洗替え法に変更しております。当該会計方針の変更については、期中会計基準第35項及び期中適用指針第73項に定める経過措置に従い、当中間連結会計期間の期首から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	計				
外部顧客への経常収益	32,389	1,158	1,221	260	35,030	1,369	36,400	－	36,400
セグメント間の内部経常収益又は振替高	160	120	8	45	335	117	452	△452	－
計	32,550	1,278	1,230	306	35,365	1,487	36,852	△452	36,400
セグメント利益又は損失(△)	2,550	104	△108	△148	2,397	△299	2,098	－	2,098
(参考) のれん償却前セグメント利益又は損失(△)	2,550	171	△67	△148	2,505	△277	2,227	－	2,227

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、遺伝子検査事業等を含んでおります。

２．調整額は、セグメント間取引の消去額です。

３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	その他	全社・消去	合計
当中間期償却額	－	66	40	－	21	－	129
当中間期末残高	－	1,270	442	－	581	－	2,293

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	計				
外部顧客への経常収益	36,406	1,130	1,554	374	39,465	1,576	41,041	－	41,041
セグメント間の内部経常収益又は振替高	261	80	26	25	393	53	446	△446	－
計	36,667	1,210	1,581	399	39,858	1,629	41,488	△446	41,041
セグメント利益又は損失(△)	4,941	51	△551	△143	4,298	△97	4,200	△6	4,194
(参考) のれん償却前セグメント利益又は損失(△)	4,941	118	△510	△143	4,405	△75	4,330	△6	4,323

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、遺伝子検査事業等を含んでおります。
２．調整額は、セグメント間取引の消去額です。
３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	その他	全社・消去	合計
当中間期償却額	－	66	40	－	21	－	129
当中間期末残高	－	1,136	360	－	538	－	2,035

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

３．補足情報

（１）2027年３月期　第２四半期（中間期）損益状況

（単位：百万円）

区分		前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）	比較増減	増減率 （%）
経常損益	保険引受収益	31,674	33,764	2,090	6.6
	（うち正味収入保険料）	(31,674)	(33,614)	(1,940)	(6.1)
	（うち責任準備金戻入額）	(－)	(149)	(149)	(－)
	保険引受費用	22,291	24,490	2,199	9.9
	（うち正味支払保険金）	(18,392)	(20,377)	(1,984)	(10.8)
	（うち損害調査費）	(583)	(715)	(132)	(22.7)
	（うち諸手数料及び集金費）	(2,845)	(3,071)	(226)	(7.9)
	（うち支払備金繰入額）	(221)	(326)	(105)	(47.8)
	（うち責任準備金繰入額）	(249)	(－)	(△249)	(△100.0)
	資産運用収益	663	2,571	1,908	287.7
	（うち利息及び配当金収入）	(436)	(489)	(53)	(12.2)
	（うち有価証券売却益）	(226)	(2,081)	(1,854)	(819.2)
	資産運用費用	0	382	381	－
	（うち有価証券売却損）	(－)	(368)	(368)	(－)
	（うち有価証券評価損）	(－)	(13)	(13)	(－)
	営業費及び一般管理費	10,449	10,333	△116	△1.1
	その他経常損益	2,502	3,065	563	22.5
	経常利益	2,098	4,194	2,096	99.9
特別損益	特別利益	－	0	0	－
	特別損失	17	40	23	133.1
	特別損益	△17	△40	△23	－
税金等調整前中間純利益		2,081	4,154	2,073	99.6
法人税及び住民税等		472	919	446	94.4
法人税等調整額		179	314	135	75.8
法人税等合計		651	1,234	582	89.3
親会社株主に帰属する中間純利益		1,429	2,920	1,490	104.3

（２）種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

① 元受正味保険料(含む収入積立保険料)

区分	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)			当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)
ペット保険	31,648	100.0	10.0	33,565	100.0	6.1
合計	31,648	100.0	10.0	33,565	100.0	6.1
(うち収入積立保険料)	(－)	(―)	(―)	(－)	(―)	(－)

(注) １．元受正味保険料(含む収入積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。(積立型保険の積立保険料を含む)

２．諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

② 正味収入保険料

区分	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)			当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)
ペット保険	31,674	100.0	10.0	33,614	100.0	6.1
合計	31,674	100.0	10.0	33,614	100.0	6.1

(注) １．諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

③ 正味支払保険金

区分	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)			当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同期 増減(△) 率(%)
ペット保険	18,392	100.0	11.4	20,377	100.0	10.8
合計	18,392	100.0	11.4	20,377	100.0	10.8

(注) １．諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

（３）有価証券関係

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

１．満期保有目的の債券

Ⅰ　前連結会計年度(2026年３月31日)

種類	連結貸借対照表計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
公社債			
地方債	2,500	2,340	△159
社債	2,600	2,458	△141
合計	5,100	4,799	△300

Ⅱ　当中間連結会計期間(2026年９月30日)

種類	中間連結貸借対照表計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
公社債			
地方債	2,500	2,287	△212
社債	2,600	2,418	△181
合計	5,100	4,705	△394

２．その他有価証券

Ⅰ　前連結会計年度(2026年３月31日)

種類	取得原価(百万円)	連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	2,082	2,451	369
公社債			
国債	6,877	6,876	△0
地方債	3,200	2,986	△213
社債	2,740	2,601	△138
その他	23,653	21,373	△2,280
合計	38,553	36,289	△2,263

(注)　市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(2026年９月30日)

種類	取得原価(百万円)	中間連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	1,311	1,403	92
公社債			
国債	10,738	10,735	△2
地方債	3,200	2,919	△280
社債	2,740	2,557	△182
その他	18,917	15,127	△3,789
合計	36,907	32,744	△4,163

(注)　市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。